

報道関係者各位

令和7年12月15日

応神天皇陵古墳に続いて、本市2例目となる笠形木製品が出土 峯ヶ塚古墳の墳丘に登る体験がついた現地説明会を開催

羽曳野市教育委員会では、史跡古市古墳群峯ヶ塚古墳において、今後の整備に向けて必要な情報を収集することを目的として、発掘調査を実施しています。この度の調査で、応神天皇陵(誉田御廟山)古墳に続いて、本市において2例目の出土となる笠形(かさがた)木製品が複数出土しました。笠形木製品は、身分や地位の高い人物に用いられた日傘を模したものとされており、峯ヶ塚古墳での出土は、古市古墳群における新たな確認例となります。

一般の方及び報道各社の皆様に調査成果の公開を行います。当日は参加者に向けて、峯ヶ塚古墳の墳丘に登る体験も実施する予定です。

発掘調査成果について

○峯ヶ塚古墳前方部南西裾(すそ)を検出しました。

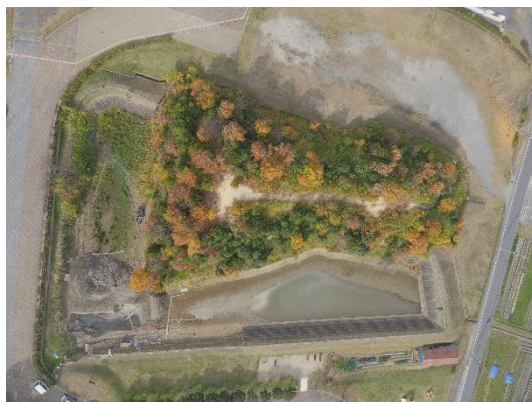
○周濠(しゅうごう)内より、笠形木製品が複数点出土しました。このうち1点については、2つに分かれています。楕円形で想定最大径55センチメートルを測ります。笠形木製品は峯ヶ塚古墳では初めて確認されました。

○笠形木製品の他にも、約1500年前の古墳築造当時に並べられた埴輪などの遺物が多数出土しました。

今回の調査成果について、大王墓である応神天皇陵古墳に続く笠形木製品の出土事例となることから、峯ヶ塚古墳が古市古墳群の中でも極めて重要な位置を占めていたことが改めて把握でき、当時の姿を復元するための貴重な資料を得ることができました。



笠形木製品



峯ヶ塚古墳

史跡古市古墳群峯ヶ塚古墳について

峯ヶ塚古墳は墳丘長96mを測る前方後円墳で、5世紀末(今から1,500年ほど前)に築造されたと考えられています。国史跡でもあり、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を構成している古墳でもあります。

峯ヶ塚古墳は、一般には立ち入ることができない陵墓が多い古市古墳群の中では、国指定史跡となっている前方後円墳です。

本市教育委員会では、築造当初の古墳の規模、形態などを明らかにし、今後の整備に向けて必要な情報を収集することを目的として、継続した発掘調査を実施しています。

発掘調査成果の現地説明会について

・日時:令和7年12月20日(土)10時～15時(雨天中止)

・場所:峰塚公園内発掘調査現場(羽曳野市軽里2丁目)

近鉄南大阪線「古市」駅より西へ約1.5km 峯ヶ塚古墳の南西部

・その他:現地説明会にお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

やむを得ずお車で来られる場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。また近隣のご迷惑になりますので、路上駐車や商業施設へは絶対に駐車しないでください。

説明会当日は、希望者に向けて峯ヶ塚古墳の墳丘に登る体験を実施する予定です。

開催内容を変更する場合は、羽曳野市ウェブサイト等でお知らせします。

(中止の場合は、12月20日(土)午前8時までに羽曳野市公式 SNS 及びウェブサイトでお知らせします。)



ウェブサイト



Facebook



LINE

問合せ先

羽曳野市教育委員会 生涯学習部 文化財・世界遺産室

【電話】072-958-1111 (内線:4483, 4484)

【電子メール】bunka-sekai@city.habikino.lg.jp



峯ヶ塚古墳位置図



峯ヶ塚古墳航空写真(直上)枠内が調査位置



調査位置全景



円筒埴輪出土状況



笠形木製品出土状況